

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	4	事業名	千葉港海岸高潮対策事業		路線又は箇所名等	千葉港海岸船橋地区				
事業所管課	港湾課		事業主体		千葉県					
事業化年度	平成8年	用地着手年度	—		工事着手年度	平成8年	再評価の理由		④	
費用便益比 B/C	23.5	総費用	209 億円	総便益	4,915 億円	基準年	平成23 年	供用開始 年度	平成 32年	

【事業概要】

千葉港海岸 船橋地区において、想定されている高潮による被害から背後地を防護するために、護岸・胸壁の改良及び護岸の補強及び排水機場・水門の改修を行う。

【事業の進捗状況】

- ・護岸の補強工事及び改良工事を実施中。
- ・水門の改修工事を順次行っている。

	進捗（平成23年度まで）	残
護岸・胸壁改良	430m（16%）	2,303m
護岸補強	780m（48%）	831m
排水機場（水門含む）改修	0箇所	4箇所
事業費（億円）	37億円（17%）	181億円

【社会経済情勢等】

- ・浸水予想区域には市役所・消防署などの防災拠点要施設が存在し、一部がゼロメートル地帯となっている。
- ・3月11日の災害を受けて、国土交通省において「首都圏の港湾における地震・津波対策検討会議」が設置され、想定津波高さの検討を行っている。
- ・事業区間内においては、3月11日の地震により、海老川水門脇の土堤及び船橋排水機場の地中配管の一部が損傷した。

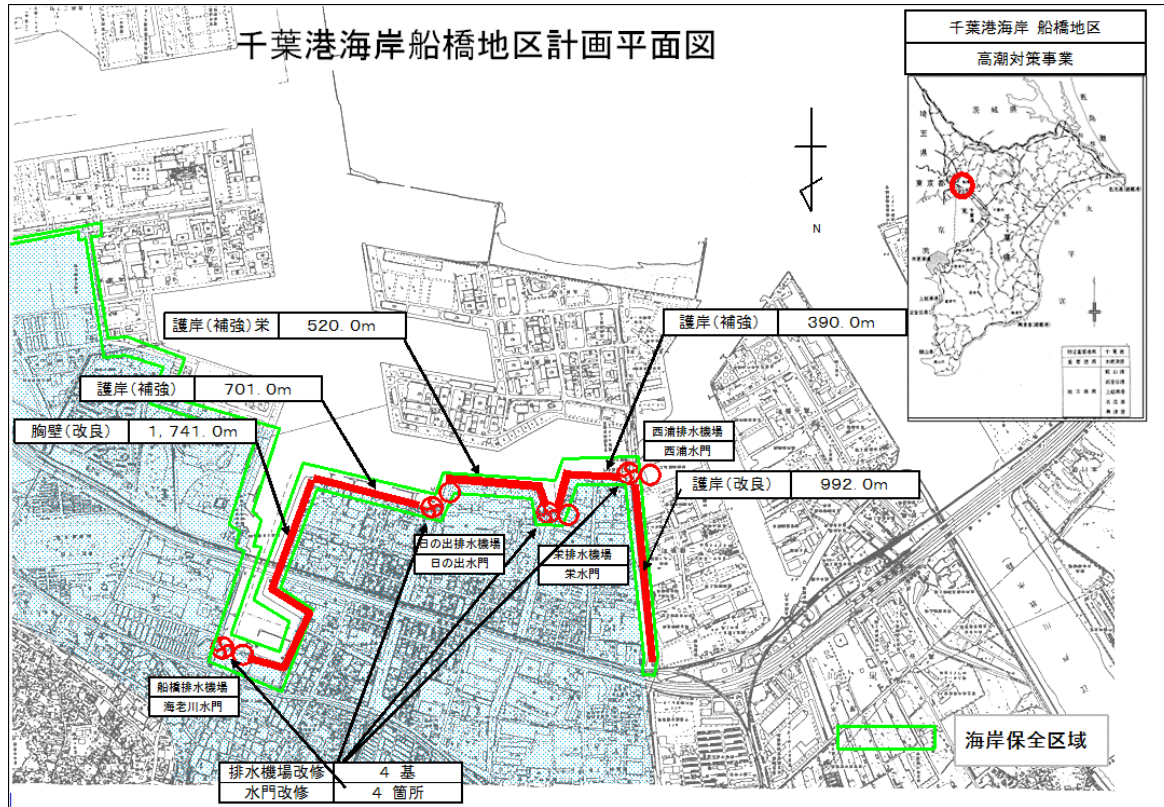
【対応方針（案）】

当事業によって防護する背後地は高度に土地利用が進み、市役所・消防署等の防災拠点も含まれている。このような背後地を高潮被害から防護する便益は大きく事業を継続して海岸保全施設の整備を図る。

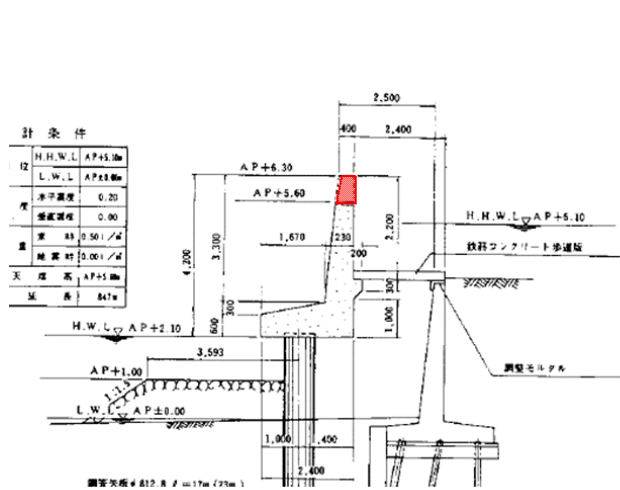
【別紙様式 4】

事業概要図

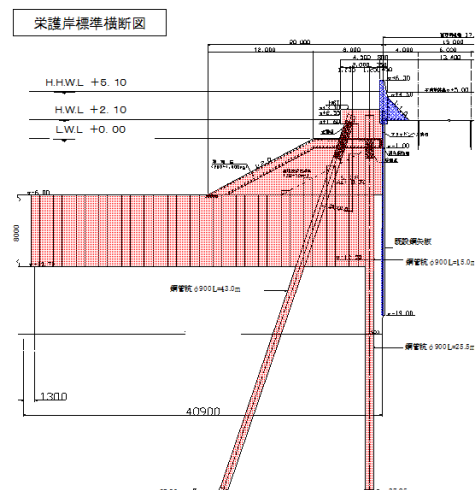
番号	4	事業名	千葉港海岸高潮対策事業	路線又は箇所名等	千葉港海岸船橋地区
----	---	-----	-------------	----------	-----------



計画平面図



二俣水路護岸改良標準断面図



栄護岸補強標準断面図

【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番 号	4	事 業 名	千葉港海岸高潮対策事業	路線又は箇所名 等	千葉港海岸船橋地区
事業化年度	H8年度	用地着手年度	—	工事着手年度	H8年度
【再評価の概要】					
再評価実施年度 (基準年)	H17年度	供用開始 年度	H22年度	対応方針	継続
B/C	29.6	総費用	213億円	総便益	6,296億円
再評価時の委員会の意見 及び当時の状況 ゼロメートル地帯を有しており、浸水時の被害は甚大である。					
再評価時の進捗状況及び再評価時想定の5年後の進捗状況					
	計 画	進捗状況	5年後の想定進捗状況		
全体事業費	218億円	10%	100%		
用地取得面積	—	—	—		
供用面積(延長)	—	—	—		
【再々評価の概要】					
再評価実施年度 (基準年)	H23年度	供用開始 年度	H32年度	対応方針	継続
B/C	23.5	総費用	209億円	総便益	4,915億円
現在の進捗状況					
	計 画	進捗状況			
全体事業費	218億円	17%			
用地取得面積	—	—			
供用面積(延長)	—	—			
再評価後の 経過 及び 処理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 護岸の補強工事及び改良工事を実施中。 ・ 水門の改修工事を順次行っている。 ・ 平成23年3月11日の災害を受けて、国土交通省において「首都圏の港湾における地震・津波対策検討会議」が設置され津波高さの検討を行っている。 ・ 事業区間内においては、3月11日の地震により、海老川水門脇の土堤及び船橋排水機場の地中配管の一部が損傷した。 ・ 平成22年度より社会資本総合交付金事業に移行した。 				